

# インサートクリップ 施工及び取付時ご注意

## 取付方向による役割の変化

### USAタイプ

**のせる**

適正荷重 100%

**吊す**

適正荷重 100%

**のせる**

適正荷重 100%

**おさえる**

適正荷重 100%

### ESSタイプ ※1

**おさえる**

適正荷重 100%

**吊す**

適正荷重 100%

**のせる**

適正荷重 50%

**のせる**

適正荷重 100%

### DSSタイプ ※2

**おさえる**

適正荷重 100%

A・B共可

**吊す**

適正荷重 100%

Bタイプをおすすめします

**のせる**

適正荷重 50%

Bタイプをおすすめします

**おさえる**

適正荷重 100%

Bタイプをおすすめします

### DKSタイプ

**おさえる**

適正荷重 100%

**吊す**

適正荷重 100%

**のせる**

不可

**おさえる**

不可

※1. ESSタイプをご使用の場合、部材の左右で交互に施工いただくと部材はずれにくくなります。

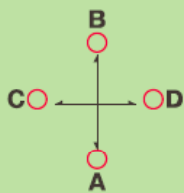
※2. Bタイプは、はさみ込んで使用するタイプでホールド力が強い為、吊る・のせる・横壁におさえる場合におすすめします。



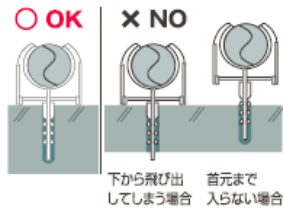
## 施工上のご注意

### プラグフィン差込み方向表

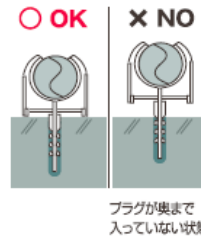
全方向に差し込み施工可能ですが(DKSを除く)、タイプ・形状により使用目的が変化しますのでご注意ください。



●Insert clipはプラグ挿入後プラグフィンが内壁に引っかかり引抜き力を保持する為、相手素材に十分な厚みが必要となります。挿入深度が確保できない場合ご利用できません。



●部材をセットし、プラグを挿入する場合、必ず首元まで押し込んで下さい。



●クリップを一度挿入して取り外す時、引っ張らずに製品を回転させて下さい。製品の形状、サイズにより取り外しにくく、破損し、穴にプラグが残る場合もあります。

●一度挿入したプラグを取りはずす場合、カッター、ペンチ等で切断の後、穴に残っているフィンを6mm口径ドリルで取り除く事が出来ます。

●反力が予想される場所でのご使用は出来ません。

●取付後、軽く引っ張りプラグフィンがきいている事をご確認下さい。

●インサートクリップは全シリーズ、全アイテム相手部材にかかわらず下穴は6mmです。必ず6mmビットを御使用下さい。

●ECを使用する時の耐荷重はメイン材の耐荷重です。

●壁面・床面でご使用にされる場合は、下穴開口時に発生する削りカスを取り除いてからご使用下さい。

## 取扱いのご注意

### ●耐荷重性

インサートクリップは軽量物専用サドルです。クリップのプラグ部分のコンクリート下地での引抜き強度は全て20kg以上ありますが、タイプ形状により荷重強度が異なります。それぞれの適正荷重をご参照下さい。

### ●耐候性

-10℃~+60℃



### ●耐紫外線処理済

### ■主な適用材(厚さは挿入深度により異なります)

RC・ハーPC・ALC・デッキプレート・アスロック・スパンクリート・レンガ・ブロック・木

注) 適用材以外には使用しないで下さい。

※鉄・石こうボード・ベニヤ板には使用出来ません。

※相手部材が木の場合、種類によって硬軟、乾、湿とあり引抜き強度が変化するため、仮施工後確認下さい。

### ■材質

ポリプロピレン AKS, DSS, ESS, DSN, USA, DKS, ESD, KB, SH, EKP

ABS :EC

### ●耐熱性

960℃で分解、有毒ガス無発生



## 取り外し可能



### 外し方

引っ張らずに時計回りに回転させると外れます。

※取り外す際に商品が破損する場合があります。ご注意ください。



P.11をご参照下さい。